

ワクチンの効果

シルガード9は、HPV16型と18型に加え、ほかの5種類のHPVの感染も防ぐため、子宮頸がんの80～90%を防ぎます。

接種できるワクチンと主な副反応について

	シルガード定(9価)
予防できるHPVの型	6型、11型、16型、18型、31型、33型、45型、52型、58型 (子宮頸がん、外陰上皮内腫瘍、膣上皮内腫瘍、尖圭コンジローマ)
接種方法	0.5mlを筋肉内に注射する
接種間隔	決められた間隔をあけて、合計2回 または3回接種 * 下記参照
主な副作用	注射部位の痛み・赤み・腫れ、頭痛、めまい、吐き気、下痢、かゆみ、発熱、疲労、内出血、腹痛、筋肉痛、関節痛、硬結など



厚生労働省HPから引用

その他の注意点

- ※痛みや緊張によって接種直後に一時的に失神や立ちくらみ等が生じることがあります。接種後30分程度は安静にしてください。ワクチンを受けた日は激しい運動はやめてください。
- ※HPVワクチン接種後には、接種部位の痛みや腫れ、赤みなどが起こることがあります。まれに、重いアレルギー症状や神経系の症状が起こることがあります。また、広い範囲の痛み、手足の動かしにくさ、動かそうと思っていないのに体の一部が勝手に動いてしまうといったような症状が報告されています。
- ※接種後に体調の変化が現れたら、接種を行った医療機関の医師にご相談ください。

健康被害救済制度について

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、このワクチンと因果関係があることを厚生労働大臣が認定した場合、予防接種法に基づく補償を受けることができます。ご不明な点は、かかりつけ医または川崎町保健センターにご相談ください。

お問い合わせ
川崎町保健センター 0947-72-7083(直通)
0947-72-3000(内線478・479)